Bluetooth インターフェイス
モバイルバーコードスキャナ
BW-130BT2
取扱説明書
Version 0001.0016 以上用

AIMEX　Corporation

BW130BT2:20130201

改訂記録

改訂番号	改訂日	改訂内容
－	2012.09.20	初版
Rev1	2012.10.31	A4 版に変更
Rev2	2012.11.28	ファームウェア Version 0001.0013 に対応
Rev3	2013.02.01	ファームウェア Version 0001.0016 に対応 BTR-UK3　（BTR-UK2 販売終了に伴う変更）

安 全 上 の ご 注 意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。

その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	＜注意＞ 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		＜禁止＞ 一般的な禁止を示しています。
	＜発火注意＞ 発火の可能性が想定されることを示しています。		＜水気禁止＞ 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	＜感電注意＞ 感電の可能性が想定されることを示しています。		＜分解禁止＞ 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	＜破裂注意＞ 破裂の可能性が想定されることを示しています。		＜ケガ注意＞ 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。

⚠ 警　告	
■本製品を絶対に分解しないでください。	・故障・感電（火災）の原因になります。
■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなどでは使用しないでください。	・故障・感電（火災）の原因になります。
■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないでください。	・火災・爆発・故障の原因になります。
■故障した状態のままで使用しないでください。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに乾電池を抜いてください。	・感電（火災）の原因になります。
■使用可能な温度・湿度内で使用してください。	・故障の原因になります。

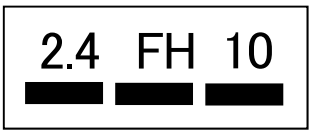
⚠ 警　告	
■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないでください。	・故障の原因になります。
■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないでください。	・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。
■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けてください。	・不用意な落下による故障やけがの原因になります。
■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないでください。	・ケースの変形や変色の原因になります。

本機使用上のご注意

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」という）が運用されています。

1．この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2．万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3．その他、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、アイメックス株式会社へお問い合わせください。

※ペースメーカ（医療機器）に影響を及ぼすおそれがあるので、病院など使用が禁止されている所では使用しないでください。



この無線機器は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は、100m です。

その他ご注意

※1 BW-130BT2 は、日本国内の Telec マークを受けた Bluetooth 無線機器を内蔵しています。
※2 iPhone/iPad は、米国アップル社の商標または登録商標です。

目　　次

１．はじめに 1
1.1 ご使用上の注意 1
1.2 梱包内容の確認 1
1.3 保証について 1
1.4 修理について 1
1.5 製品型式 1
1.6 各部の名称 1
1.7 表示 LED について 2
1.8 乾電池について 2
1.9 乾電池の装着（交換）について 2
1.10 接続可能な機器について 2
1.10.1 PC との接続 （弊社受信ユニット BTR-UK3 を使用する場合） 2
1.10.2 PC との接続 （市販の USB ドングル、内蔵 Bluetooth を使用する場合） 2
1.10.3 iPhone/iPad との接続 2
1.10.4 Android スマートフォン、タブレット（Windows, Android）等との接続 3
1.11 データフォーマット 3
1.12 BW-130BT2 設定方法 3
..... 4
２．操作方法 4
2.1 ボタンの操作方法 4
2.1.1 パワーボタン 4
2.1.2 トリガボタン 4
2.2 機器との接続方法 4
2.2.1 初回の SPP 接続方法 4
2.2.2 初回の HID 接続方法 4
2.2.3 ２回目以降の接続方法 (同じ機器に接続する場合) 4
2.3 バーコードの読み取り方法 5
３．通信仕様 6
3.2 通信データフォーマット(初期値) 6
3.3 ID コマンド 6
3.4 通信エラー 6
3.5 HID（キーボード）通信 6
４．パラメータ設定 7
4.1 設定手順 7
4.2 初期化手順 7
4.3 Bluetooth＆メモリモード設定 7
4.3.1 メモリモードから Bluetooth モード選択 7
4.3.2 Bluetooth モードからメモリモード選択 7
4.4 Bluetooth モード設定 8
4.4.1 SPP 通信設定 8
4.4.2 接続先 Bluetooth アドレス設定 8
4.4.3 HID 通信設定 8
4.4.4 キーパッド設定 9
4.4.5 Caps Lock 設定 9
4.5 Bluetooth モード機能設定 9
4.5.1 ブザー音設定 9
4.5.2 バイブレータ設定 １０
4.6 Bluetooth モードデータフォーマット設定 １０

4.6.1 バーコード ID 出力設定 １０
4.6.2 接頭語（プレアンブル）設定 １１
4.6.3 接頭語（プリフィックス）設定 １１
4.6.4 接尾語（サフィックス）設定 １２
4.6.5 接尾語（ポストアンブル）設定 １２
4.7 メモリモード機能設定 １３
4.7.1 ブザー音設定 【メモリモード】 １３
4.7.2 バイブレータ設定 【メモリモード】 １３
4.8 メモリモードデータフォーマット設定 １４
4.8.1 バーコード ID 出力設定 【メモリモード】 １４
4.8.2 接頭語（プレアンブル）設定 【メモリモード】 １４
4.8.3 接頭語（プリフィックス）設定 【メモリモード】 １５
4.8.4 接尾語（サフィックス）設定 【メモリモード】 １５
4.8.5 接尾語（ポストアンブル）設定 【メモリモード】 １６
4.8.6 日付スタンプ設定 【メモリモード】 １６
4.8.7 時間スタンプ設定 【メモリモード】 １７
4.9 メモリモード蓄積データ出力設定 １７
4.9.1 蓄積データ転送・削除 １７
4.9.2 蓄積データ転送 １７
4.9.3 蓄積データ消去 １８
５．シンボル設定 １９
5.1 JAN-13／EAN-13 設定 １９
5.2 JAN-8／EAN-8 設定 １９
5.3 UPC-A 設定 ２０
5.4 UPC-E 設定 ２０
5.5 CODE39 設定 ２１
5.6 CODE128 設定 ２１
5.7 Codabar （NW7）設定 ２２
5.8 Interleaved 2of5 （ITF）設定 ２２
5.9 CODE93 設定 ２３
5.10 GS1DataBar 設定 ２３
5.10.1 GS1 DataBar Omnidirectional（RSS14） ２３
5.10.2 GS1 DataBar Stacked（RSS14 Stacked） ２３
5.10.3 GS1 DataBar Limited（RSS Limited） ２４
5.10.4 GS1 DataBar Expanded（RSS Expanded） ２４
5.10.5 GS1 DataBar Expanded Stacked（RSS Expanded Stacked） ２４
６．パラメータ設定 ２５
6.1 バーコード ID コード表 ２５
6.2 パラメータ入力 ２５

1．はじめに

このたびは、モバイルバーコードスキャナ BW-130BT2 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品を常に安全かつ最良の状態でご使用頂くため、「安全上のご注意」ならびに「操作方法」をよくお読みになり、内容をよく理解して頂き正しくお使いください。

1.1 ご使用上の注意

本製品は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。　本製品が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

2013 年 2 月出荷分よりファームウェアバージョンを 0001.0016 に変更しました。 これより以前のバージョンの BW-130BT2 では、本誌の設定コードをスキャンしないでください。

1.2 梱包内容の確認

本製品の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

（梱包内容）

- ◆ BW-130BT2 本体　　1 台
- ◆ 単 4 形アルカリ乾電池　　2 本
- ◆ シリコンカバー　　1 個

1.3 保証について

製品の無償保証期間は、ご購入日より 1 年間とさせていただきます。
ただし、保証期間中でもお客様のお取り扱い及び保管ミスによる損傷等は有償修理となります。
また、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

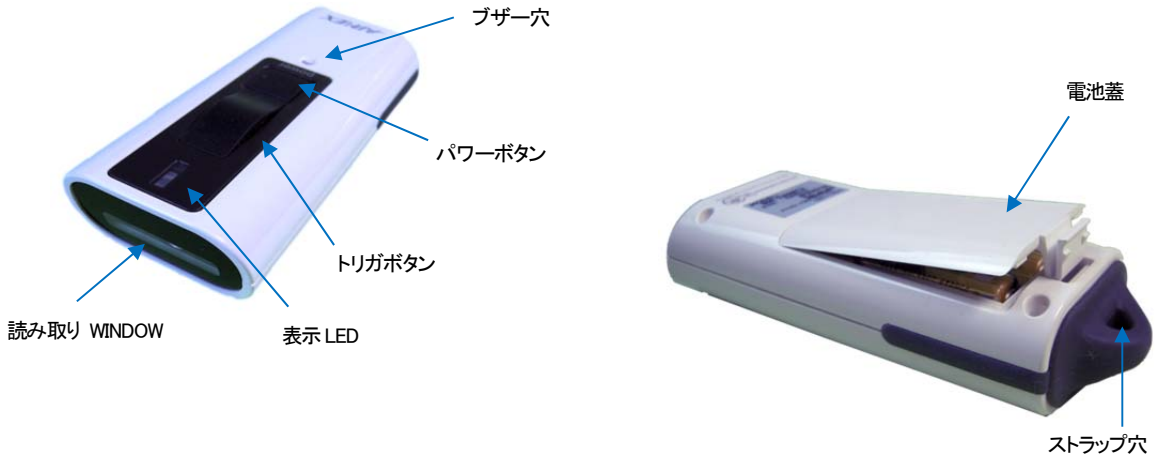
1.4 修理について

製品の修理は全てセンドバック方式で行ないます。　修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。　なお、代替機等は、ご用意できませんので悪しからずご了解ください。

1.5 製品型式

型式	仕様
BW-130BT2	Bluetooth インターフェイス SPP (Serial Port Profile)、HID キーボード

1.6 各部の名称



1.7 表示 LED について

グッドリード表示：バーコードの読み取りに成功すると１回点滅。

接続表示：相手機器と未接続又は接続実行中は早い点滅、接続されるとゆっくりの点滅。
（通常時は緑色、乾電池の電源容量が減少すると赤色になりますので、赤色点滅を始めましたら、早急に乾電池を交換してください）

1.8 乾電池について

本製品は単４形アルカリ乾電池を２本使用します。乾電池の交換時期は、ローバッテリー表示（赤色点滅）でお知らせします。接続表示が赤色点滅し始めましたら速やかに電源オフにして乾電池を交換してください。

※長期間使用されない場合には、乾電池を外して保管してください。

1.9 乾電池の装着（交換）について

乾電池の装着は下記の手順で取り付けてください。

①電池蓋を開けます。

②電池の極性（+,-）を確認し、単４形アルカリ電池を装着します。装着方向はケースに記載しています。

③電池蓋を取り付けます。

また、乾電池のお取り扱いについては、乾電池の使用上の注意をお守りください。

1.10 接続可能な機器について

BW-130BT2 は、Bluetooth の SPP （ Serial Port Profile ） と HID キーボードに対応した機器に接続可能です。 Bluetooth 対応機器であっても SPP または HID に対応していなければ接続できませんのでご注意ください。 なお、BW-130BT2 の初期設定は SPP のマスタモードです。 スレーブモードでの使用をご希望の方は別紙「接続手順書」をご覧ください。

また、機器によってデバイスソフト等のインストールが必要な場合もございます。

1.10.1 PC との接続 （弊社受信ユニット BTR-UK3 を使用する場合）

BW-130BT2 の Bluetooth モード設定を BTR-UK3 モードに変更が必要です。 操作手順の詳細については、別紙「接続手順書」をご覧ください。

1.10.2 PC との接続 （市販の USB ドングル、内蔵 Bluetooth を使用する場合）

・USB ドングルのデバイスドライバを PC にインストールしてください。

・「SPP」モードでキーボード入力させる場合は、弊社 RS-Keyboard 等のデバイスソフトが別途必要ですので、弊社 営業部までお問い合わせください。

・Bluetooth 通信を「SPP」モードから「HID」モードに変更すると、ドライバなどのインストールは不要です。

1.10.3 iPhone/iPad との接続

・Bluetooth 通信を「iPhone/iPad HID」モードに変更してください。

1.10.4 Android スマートフォン、タブレット（Windows, Android）等との接続

・SPP モードでキーボード入力させる場合は、弊社推奨 RS-KeyboardAR ドライバソフトを端末にインストールしてください。　本ドライバソフトは、有限会社デジャヴ様に著作権があります。　下記サイトまたは、Google Play からダウンロードできます。
上記以外の機器との接続や、接続の詳細につきましては、「接続手順書」をご確認ください。

RS-KeyboardAR 評価版（無償）

Android 端末で下記の QR コードをスキャンしてダウンロードサイトへアクセスするか、Google Play で「RS-KeyboardAR」で検索してください。

ダウンロード後にインストールを実行してください。
手順：
1．「入力方法の選択」で「RS-KeyboardAR」を選択
2．Bluetooth 設定で「検出可能」をタップしてペアリングを開始します。
3．BW-130BT2 をペアリングモードで起動（電源ボタンの長押し）
4．PIN コード「1234」（初期値）を入力
5．メモ帳などのテキスト入力にスキャンデータを出力します。

注意：
無償版の RS-KeyboardAR は、スキャン回数を５０回に制限しています。　５０回を超えて使用を希望される場合には、製品版のご購入をお願い申し上げます。　製品版の RS-KeyboardAr も Google Play より購入可能です。　詳細につきましては、弊社　営業員へお問い合わせください。

1.11 データフォーマット

スキャンしたデータに付加情報を付けることで機器での処理を容易に行うことができます。
接頭語（プレアンブル／プリフィックス）と接尾語（ポストアンブル／サフィックス）は、スキャンデータの前後に設定コードを付加します。

データ構成

プレアンブル	プリフィックス	スキャンデータ	サフィックス	（付加情報）	ポストアンブル

プレアンブルおよびポストアンブルは、設定コード２文字まで登録できます。
プリフィックスおよびサフィックスは、８文字まで登録できます。
付加情報は、日付・時間などスキャンデータ以外の情報です。
※初期値に戻すためには初期化を実施してください。

1.12 BW-130BT2 設定方法

本書には、基本的な操作を行うための設定コードを記載しています。　詳細な設定をご希望の場合には、弊社ホームページより「Bluetooth モバイルスキャナ BW-130BT2(新　設定バーコードシート)」をダウンロードしてご利用ください。

http://www.aimex.co.jp/archive/manualDL.html

2．操作方法

2.1 ボタンの操作方法

2.1.1 パワーボタン

【電源オフ時】
・1 秒間押下で電源オン(接続表示点灯)
・5 秒間以上押下でリンクキークリア、電源オン、新規接続開始
(グッドリード表示と接続表示が同時点灯)
【電源オン時】
・1 秒間以上押下で電源オフ（接続表示消灯）

2.1.2 トリガボタン

【電源オフ時】
・1 回押下で電源オン（自動接続開始）
【機器接続時】
・1 回押下で読取り LED 点灯(読取り開始)
【電源オンで機器未接続時】
・1 回押下で動作しません。

2.2 機器との接続方法

2.2.1 初回の SPP 接続方法

接続させたい機器(以下機器)を Bluetooth 接続待ち状態にします。
BW-130BT2 のパワーボタンを 5 秒以上長押しして離します。
機器の画面で「PIN コードの入力」を求められた場合、「1234」を入力します。
機器と BW-130BT2 が接続されます。
※詳細については、別冊「Bluetooth モバイルスキャナ BW-130BT2(新　接続手順書)」をご確認ください。
※BW-130BT2-UK(BTR-UK3 とのセット)をご購入の方は、既にペアリング済みですので上記作業は行なわないでください。

2.2.2 初回の HID 接続方法

Bluetooth モード設定を HID モードへ変更します。
電源をオフにします。
BW-130BT2 のパワーボタンを 5 秒以上長押しして離します。
機器の Bluetooth を接続検索状態にします。
機器の画面に PIN コードを表示しますので、BW-130BT2 で設定コードシートのパラメーター設定用コードを利用して PIN コードを入力します。
機器と BW-130BT2 が接続されます。
※詳細については、別冊「Bluetooth モバイルスキャナ BW-130BT2(新　接続手順書)」をご確認ください。

2.2.3 ２回目以降の接続方法（同じ機器に接続する場合）

機器の Bluetooth を ON 状態にします。
BW-130BT2 のトリガボタンを 1 回押下します。
機器と BW-130BT2 が自動接続します。
※新しい機器と接続する際は、必ず 2.2.1 または 2.2.2 の操作を行ってください。

2.3 バーコードの読み取り方法

バーコードから 5～20cm 程度距離を取った位置からトリガボタンを押して読み取ります。読み取りが成功するとグッドリードLEDが1回点滅し、ブザー音が1回鳴り、光源LEDは消灯します。
読み取れない場合は読み取り角度や距離を変えてください。

※使用後はパワーボタンを1秒以上長押しして電源を切ってください。
　そのままにしておいても設定時間(初期値は2分)で自動的に電源は切れます。
※ブザー音およびバイブレーションについては、設定で変更可能です。

3．通信仕様

3.1 SPP（シリアル）通信設定

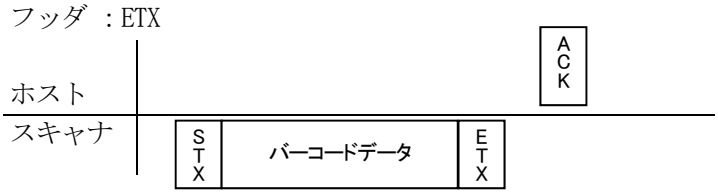
BW-130BT2 の通信設定の初期値は下記の通りです。接続される機器の受け側のソフトウェア(又はデバイスソフト)の通信設定を下記に合わせてください。

ボーレート　　：115200bps
データビット　　：8 ビット
スタートビット　：1 ビット
ストップビット　：1 ビット
パリティ　　：Even
伝送手順　　：ACK/NAK 手順(初期値)

＊接続する機器に依存される場合がございますのでご注意ください。

3.2 通信データフォーマット(初期値)

伝送符号　　：ASCII（JIS8 単位符号）
ヘッダ ：STX
フッダ ：ETX

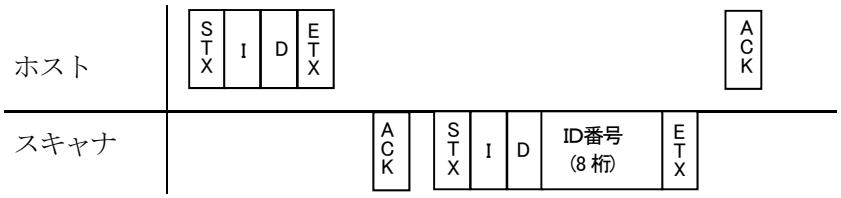


※スキャナはホストからの応答として NAK を受信した場合、同じデータを再送します。

3.3 ID コマンド

BW-130BT2 は、機器との接続状態が未接続から接続になった時点から 5 秒間、機器から「ID」コマンドを受け付け、ID(シリアル番号)を送信します。

項　目	コマンド	応　答
ＩD番号読出	ＩD	“ＩD”+8 桁のシリアル番号 (シリアル番号は製品銘板に印刷されています)



3.4 通信エラー

データ送信時に ACK/NAK 応答待ちで 2 秒経過した場合、又はコマンド受信待ちで 2 秒経過した場合は、送受信データを破棄すると共に、約 500ms のブザー音によるエラー通知と、ホスト機器との接続を一度解除してから再接続を行ないます。

3.5 HID（キーボード）通信

BW-130BT2 は、市販の Bluetooth キーボードと同様の通信を行います。　機器のアクティブなテキスト画面のカーソル位置にスキャンデータを入力します。

4．パラメータ設定

BW-130BT2 の設定は本章に記載する設定バーコードを読み取って行ないます。
通常は、出荷時設定のままでご使用できますのでむやみに設定変更を行なわないでください。
また、設定変更は、機器と接続中(読み取り可能状態)でなければ行なえませんのでご注意願います。
※BW-130BT2 の乾電池　１本を外してトリガボタンを押した状態で乾電池を挿入することで、強制的に設定モードで起動します。　「設定開始コード」のスキャンは不要です。

4.1 設定手順

「設定開始コード」をスキャンする　　正読表示 LED 点滅・読取ブザー音１回

繰り返し「設定コード」のスキャン可能

各「設定コード」をスキャンする　　読取ブザー音１回

「設定終了コード」をスキャンする　　正読表示 LED 消灯・読取ブザー音１回

「設定コード」による機能設定は、「設定終了コード」をスキャンした時点で設定状態になり、設定状態を記憶します。　(**電源オフ状態または乾電池を外した状態でも設定を保持します**)

4.2 初期化手順

バーコードに関する読取設定を初期化

① 設定開始

② 初期化

※インターフェイスに関する設定は初期化されません。
※初期化が終了すると通常モードに自動で戻ります。

4.3 Bluetooth&メモリモード設定

4.3.1 メモリモードから Bluetooth モード選択

※スキャン後 BW-130BT2 は待機状態になります。

4.3.2 Bluetooth モードからメモリモード選択

設定中止

4.4 Bluetooth モード設定

Bluetooth 通信は、SPP（シリアル）、HID（キーボード）、ドングル接続の３通りがあります。
SPP 通信方式では、機器のアプリケーションでシリアルデータを受信できない場合には、別売の RS-KeyboardAR などのドライバソフトを組み込む必要があります。
HID 通信方式では、Bluetooth キーボードとして機器へデータ入力します。
ドングル通信方式では、別売の BTR-UK3 を機器の USB ポートへ挿入してキーボードとしてデータ入力します。

※通信モードを変更した際には、再度ペアリング作業が必要です。
※接続先機器の Bluetooth アドレスを指定してペアリングできます。
※PIN（初期値：1234）は変更可能です。　[PIN＝パスキー]
※BW-130BT2 のデバイス表示名は変更可能です。

4.4.1　SPP 通信設定

設定開始	
SPP（Master） （初期値）	
設定終了	

設定作業を中止する場合には、「設定終了コード」をスキャンする前に「設定中止コード」をスキャンして設定を無効にできます。

※BTR-UK3 などで設定した Bluetooth アドレスをクリアしませんとペアリングができません。　詳細については、別冊「Bluetooth 接続手順書」をご確認ください。

4.4.2 接続先 Bluetooth アドレス設定

特定機器とのみ接続を行う場合に設定を行います。
BTR-UK3 と接続を行う場合などで使用します。
※接続先を限定してペアリングを行います。　別の機器との接続はできません。

4.4.3　HID 通信設定

	標準用 (Windows/Android)	iOS 用 (iPhone/iPad)	専用ドングル用 (BTR-UK3)
設定開始			
HID 通信設定			
設定終了			

※設定を変更した際には再度ペアリング操作が必要です。

設定中止

4.4.4 キーパッド設定

キーパッド出力設定を行います。

	キーパッド無効（初期値）	キーパッド有効
設定開始		
キーパッド設定		
設定終了		

4.4.5 Caps Lock 設定

	CapsLock Auto（初期値）	CapsLock Off	CapsLock On	Alt
設定開始				
設定コード				
設定終了				

4.5 Bluetooth モード機能設定

Bluetooth モードは、SPP 通信および HID 通信の両方をサポートします。

4.5.1 ブザー音設定

	標準動作（初期値）	完全消音	警報消音	読取消音
設定開始				
設定コード				
設定終了				

設定中止

4.5.2 バイブレータ設定

	全停止（初期値）	標準時動作	警報時停止	読取時停止
設定開始				
設定コード				
設定終了				

4.6 Bluetooth モードデータフォーマット設定

4.6.1 バーコード ID 出力設定

	ID 出力禁止（初期値）	ID 出力許可	
		データの前	データの後
設定開始			
ID 出力設定			
ID 出力位置			
設定終了			

バーコード ID コード表

バーコード	ID	バーコード	ID
JAN-13/EAN-13	F	CODE93	L
JAN-8/EAN-8	FF	CODE11	O
UPC-A	A	MSI	P
UPC-E	E	GS1 DataBar Omnidirectional	T
CODE39	M	GS1 DataBar Limited	U
CODE128	K	GS1 DataBar Stacked	V
Codabar (NW7)	N	GS1 DataBar Expanded	W
Interleaved2of5 (ITF)	I	GS1 DataBar Expanded Stacked	X

設定中止

4.6.2 接頭語（プレアンブル）設定

プレアンブルはスキャンデータの先頭に付加する情報データです。

	プリアンブル出力禁止 （初期値）	プリアンブル出力許可
設定開始		
設定コード		
プレアンブル 出力コード設定		
設定コード ２文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

4.6.3 接頭語（プリフィックス）設定

プリフィックスは、プレアンブルデータとスキャンデータの間に挿入する情報データです。

	プリフィックス出力禁止 （初期値）	プリフィックス出力許可
設定開始		
設定コード		
プリフィックス 出力コード設定		
設定コード ８文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

設定中止

4.6.4 接尾語（サフィックス）設定

サフィックスは、スキャンデータとポストアンブルデータの間に挿入する情報データです。

	サフィックス出力禁止 （初期値）	サフィックス出力許可
設定開始		
設定コード		
サフィックス 出力コード設定		
設定コード ８文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

4.6.5 接尾語（ポストアンブル）設定

ポストアンブルは、スキャンデータの最後に付加する情報データです。

	ポストアンブル出力禁止 （初期値）	ポストアンブル出力許可
設定開始		
設定コード		
ポストアンブル 出力コード設定		
設定コード ２文字以内		（初期値：CR+LF 0x0d 0x0a） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

設定中止

4.7 メモリモード機能設定

オフラインでスキャンを行い、スキャンデータは内蔵メモリに保存します。　メモリモードは、BW-130BT2 で「メモリモードから Bluetooth モードへ設定変更」(P17) をスキャンするまでメモリモードを保持します。
Bluetooth モードに変更後にペアリングを行い、蓄積データをスキャン順に出力します。
※通信圏外でもスキャンできます。

Bluetooth モードからメモリモードへ設定

※BW-130BT2 電源 On 状態でトリガボタンを長押し（約 15 秒間）で正読 LED が橙色に点滅から点灯に変わり、ブザー音（長音１回と短音２回）が鳴りましたらトリガボタンから指を離してメモリモードに変更できます。

4.7.1 ブザー音設定　【メモリモード】

	標準動作（初期値）	完全消音	警報消音	読取消音
設定開始				
設定コード				
設定終了				

4.7.2 バイブレータ設定　【メモリモード】

	全停止（初期値）	標準時動作	警報時停止	読取時停止
設定開始				
設定コード				
設定終了				

設定中止

4.8 メモリモードデータフォーマット設定

4.8.1 バーコード ID 出力設定　【メモリモード】

	ID 出力禁止 （初期値）	ID 出力許可	
		データの前	データの後
設定開始			
ID 出力設定			
ID 出力位置			
設定終了			

4.8.2 接頭語（プレアンブル）設定　【メモリモード】

プレアンブルはスキャンデータの先頭に付加する情報データです。

	プリアンブル出力禁止 （初期値）	プリアンブル出力許可
設定開始		
設定コード		
プレアンブル 出力コード設定		
設定コード ２文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

設定中止

4.8.3 接頭語（プリフィックス）設定 【メモリモード】

プリフィックスは、プレアンブルデータとスキャンデータの間に挿入する情報データです。

	プリフィックス出力禁止 （初期値）	プリフィックス出力許可
設定開始		
設定コード		
プリフィックス 出力コード設定		
設定コード ８文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

4.8.4 接尾語（サフィックス）設定 【メモリモード】

サフィックスは、スキャンデータとポストアンブルデータの間に挿入する情報データです。

	サフィックス出力禁止 （初期値）	サフィックス出力許可
設定開始		
設定コード		
サフィックス 出力コード設定		
設定コード ８文字以内		（初期値：未設定） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

設定中止

4.8.5 接尾語（ポストアンブル）設定 【メモリモード】

ポストアンブルは、スキャンデータの最後に付加する情報データです。

	ポストアンブル出力禁止 （初期値）	ポストアンブル出力許可
設定開始		
設定コード		
ポストアンブル 出力コード設定		
設定コード ２文字以内		（初期値：CR+LF 0x0D 0x0A） 0x00 ～ 0xFF
設定終了		

※設定コードについては１６進数入力で行います。
パラメータ入力用バーコードを利用ください。

4.8.6 日付スタンプ設定 【メモリモード】

スキャンした日付データ　（印字：　YYYY/MM/DD）

	日付スタンプ付（初期値）	日付スタンプ無
設定開始		
設定コード		
設定終了		

設定中止

4.8.7 時間スタンプ設定 【メモリモード】

スキャンした時間データ　(印字：　hh:mm:ss)

	時間スタンプ付（初期値）	時間スタンプ無
設定開始		
設定コード		
設定終了		

4.9 メモリモード蓄積データ出力設定

メモリモードで蓄積したデータは、Bluetooth モードに切り替えてから出力をします。

メモリモードから Bluetooth モードへ設定変更

※接続端末によっては、再度ペアリング作業が必要となります。

4.9.1 蓄積データ転送・削除

蓄積データは、データ転送を行うと自動で蓄積データを削除します。
蓄積データの転送は、「4.9.2 蓄積データ転送」の設定コードをスキャンして行います。
BW-130BT2 を Bluetooth 通信モードで動作中に下記の設定コードをスキャンしてください。

自動削除	禁止（初期値）	許可
設定開始		
設定コード		
設定終了		

4.9.2 蓄積データ転送

蓄積データは、蓄積データ消去または転送・削除設定で送信するまで何回でも出力可能です。
BW-130BT2 を Bluetooth 通信モードで動作中に下記の設定コードをスキャンしてください。

※蓄積データが出力終了するとブザー音が鳴ります。
※「4.8 メモリモードデータフォーマット設定」の設定項目は、「蓄積データ転送」実行前に変更することでデータ出力フォーマットを変更できます。

設定中止

4.9.3 蓄積データ消去

蓄積データを消去します。

BW-130BT2 で下記の設定コードをスキャンすると、蓄積データをすべて削除します。

※蓄積データを出力する前に「蓄積データ消去」コードをスキャンすると、蓄積データを出力できなくなりますのでご注意ください。

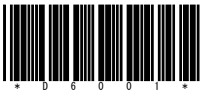
設定中止

5．シンボル設定

5.1 JAN-13／EAN-13 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
チェックデジット	転送許可（初期値）	転送禁止	
アドオン	読取禁止（初期値）	読取有効	
設定終了			

5.2 JAN-8／EAN-8 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
チェックデジット	転送許可（初期値）	転送禁止	
アドオン	読取禁止（初期値）	読取有効	
設定終了			

設定中止

5.3 UPC-A 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
チェックデジット	転送許可（初期値）	転送禁止	
アドオン	読取禁止（初期値）	読取有効	
設定終了			

5.4 UPC-E 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
チェックデジット	転送許可（初期値）	転送禁止	
アドオン	読取禁止（初期値）	読取有効	
設定終了			

設定中止

5.5 CODE39 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
Full ASCII コンバート	禁止（初期値）	許可	
チェック デジット	未確認（初期値）	確認	
設定終了			

※チェックデジット確認を選択するとチェックデジットを付加してない CODE39 は読み取りません。　また、出力データからチェックデジットは削除しません。

5.6 CODE128 設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
チェック デジット	未確認（初期値）	確認	
フォーマット	標準	GS1-128	
設定終了			

※チェックデジット確認を選択するとチェックデジットを付加してない CODE128 は読み取りません。　また、出力データからチェックデジットは削除しません。
※GS1-128 読取は、AI のカッコ表示を有効にします。

設定中止

5.7 Codabar （NW7）設定

読取設定	許可（初期値）		禁止
設定開始			
設定コード			
スタート ストップ	出力禁止（初期値）	出力許可	
スタート ストップ	同一未確認（初期値）	同一確認	
チェック デジット	未確認（初期値）	確認	
設定終了			

※スタート・ストップ同一確認を選択するとスタート・ストップ文字が同一以外の Codabar は読み取りません。
※チェックデジット確認を選択するとチェックデジットを付加してない Codabar は読み取りません。　また、出力データからチェックデジットは削除しません。

5.8 Interleaved 2of5 （ITF）設定

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
チェック デジット	未確認（初期値）	確認	
設定終了			

※チェックデジット確認を選択するとチェックデジットを付加してない Interleaved 2of5 は読み取りません。
また、出力データからチェックデジットを削除しません。

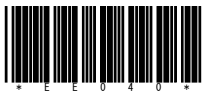
設定中止

5.9 CODE93 設定

読取設定	許可	禁止（初期値）
設定開始		
設定コード		
設定終了		

5.10 GS1DataBar 設定

5.10.1 GS1 DataBar Omnidirectional (RSS14)

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
AI 制御コード () 括り	許可（初期値） 	禁止 	
設定終了			

5.10.2 GS1 DataBar Stacked (RSS14 Stacked)

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
AI 制御コード () 括り	許可（初期値） 	禁止 	
設定終了			

設定中止

5.10.3 GS1 DataBar Limited (RSS Limited)

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
AI 制御コード () 括り	許可（初期値）	禁止	
設定終了			

5.10.4 GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded)

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
AI 制御コード () 括り	許可（初期値）	禁止	
設定終了			

5.10.5 GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS Expanded Stacked)

読取設定	許可		禁止（初期値）
設定開始			
設定コード			
AI 制御コード () 括り	許可（初期値）	禁止	
設定終了			

設定中止

6．パラメータ設定

6.1 バーコード ID コード表

バーコード	ID	バーコード	ID
JAN-13/EAN-13	F	CODE93	L
JAN-8/EAN-8	FF	CODE11	O
UPC-A	A	MSI	P
UPC-E	E	GS1 DataBar Omnidirectional	T
CODE39	M	GS1 DataBar Limited	U
CODE128	K	GS1 DataBar Stacked	V
Codabar (NW7)	N	GS1 DataBar Expanded	W
Interleaved2of5 (ITF)	I	GS1 DataBar Expanded Stacked	X

6.2 パラメータ入力

#	設定コード	#	設定コード
0		8	
1		9	
2		A	
3		B	
4		C	
5		D	
6		E	
7		F	
確定		クリア	

※１６進数入力

設定終了

設定中止

アイメックス株式会社

〒146-0094
東京都大田区東矢口２－４－１４
電話　03-3750-0511
E-Mail　sales@aimex.co.jp
http;//www.aimex.co.jp